

大人用



伝道地便り

2022年 第3期 南アメリカ支部

- | | |
|---------------------|------|
| 第1話 「パンデミックの中の奇跡」 | ボリビア |
| 第2話 「心の歌」 | ボリビア |
| 第3話 「神さまは全てをご支配される」 | ボリビア |
| 第4話 「新しい教会のための祈り」 | ブラジル |
| 第5話 「水着で教会へ」 | ブラジル |
| 第6話 「神さまだけに頼る」 | ブラジル |

ADVENTIST
MISSION

セブンスデー・アドベンチスト教団 伝道局 安息日学校部

伝道地便りの使い方のヒント

伝道地便りに収められているのは、現地からの一人ひとりの生きた経験です。安息日学校でこれを用いるときには、生き生きとご紹介していただきたいのです。そのためのヒントを、いくつか挙げていきます。

- 1) 前もって何度か目を通し、自信を持って読む。
- 2) 棒読みは避け、証されている大事な部分を明確にしておく。
- 3) 伝える時間はできるだけ短く。長くても5～7分。
- 4) 誰が、いつ、どこで、何を、なぜ、どうしたかが分かるようにする。
- 5) できたらカードに文字や絵を書くなどの視聴覚的工夫を。
- 6) 時には、スキット(寸劇)風にしてくださっても良いですね。

伝道地便りは、私たちが自分の証をするときの練習になります。主の愛の証のために、「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして」紹介しましょう。

1. パンデミックの中の奇跡

ボリビア



ギラーモ

新型コロナウイルス感染拡大により、ボリビアでもロックダウン（都市封鎖）が行われました。全ての教会は閉鎖され、感染の恐れから、礼拝をはじめその他全ての集会を行うことが禁止されました。そこで、ボリビア第二の都市、エル・アルトでは数名の信者が家庭で集会を持つようになりました。

ギラーモは神さまに、「どのようにしたらパンデミックの中で礼拝をお捧げすることができますか？」と熱心に祈り求めました。祈っていると、ある考えが浮かびました。それは、町を離れ、砂漠の中で礼拝するというものでした。

多くの祈りとたくさんの教会員の助けを得て、ギラーモは町を取り囲む山々の1つに出て行き、そこで神さまを礼拝することにしました。そこは、雪山の麓にあり、ボリビアの先住民アイマラ族が「ワニャクタータ」と呼ぶ場所で、「乾いた湖」という意味がありました。

最初の安息日、8人の教会員の男性が集まりました。彼らはその数にがっかりすることなく、引き続き毎安息日、集会を持ちました。彼らは祈り、礼拝をお捧げするために集まり続けます。そうす

ると、3か月後、集会は100人を超えるまでに大きくなり、アドベンチストのクリスチャンだけではなく、福音派や他の宗派の人々も集まるようになっていました。

寒さや雨、疲れても、老若男女は、目的地までの1マイル（約2キロ）の登山を決してやめることはありませんでした。人々を前進させたのは、彼らの心の中に「歩き続けよう、神さまが共におられる」という一つの一致した考えがあったからです。彼らは、瞑想や断食、祈りによって神さまへの信頼を強めました。丘の上で彼らはひざまずき、喜びを持って熱心な祈りを主に捧げました。

毎安息日、丘の上で集会を持つことによって非常に大きな恵みが与えられました。多くの人々は失業や病気と苦闘しながら主を求めていました。彼らは目に涙を浮かべ、神さまが彼らの人生に素晴らしい奇跡を起こしてくださるという信仰を持って丘を後にしました。彼らはフィリピの信徒への手紙4章19節に書かれている「わたしの神は、御自分の栄光の富に応じて、キリスト・イエスによって、あなたがたに必要なものをすべて満たしてください」とのみ言葉によってお互いを励まし合いました。

パンデミックによって世界の活動は停滞しましたが、永遠の福音の説教がとどまることはありません。パンデミックの最中に丘の上で行われた奇跡的な集会によって、13人がバプテスマを受け、主に人生を捧げました。現在、丘の上で集まっていた人々は、新たに場所を借りて毎週50人以上が安息日礼拝を捧げています。

パンデミック渦であっても、ボリビアの第2の都市エル・アルトでは福音が宣べ伝えられています。しかし、エル・アルトの他の地域にはまだアドベンチスト教会がありません。今期の13回献

金はそれらの地域に4つの教会を建てるために用いられます。9月24日には、たくさんの献金によって、この計画をお支えくださることを心から感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-2022.
- この話は、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された事例です。

「世界伝道概念を理解し、牧師だけが伝道に献身するのではなく、老若男女問わず全ての教会員が伝道に関わり、キリストを証して弟子を作る」（「伝道の目標」No.1）

「個人または家族を霊に満たされた生活を送れるように弟子訓練する」（「霊的成長の目標」No.5）

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」（「伝道の目標」No.4）

詳細はウェブサイト IWillGo2020.org をご覧ください。

豆知識

- ボリビアには世界最大規模の塩湖（ウユニ塩湖）があります。その大きさは10,582 平方キロメートルで、海拔3,646mの位置にあるといわれています。その大きさはアメリカで有名なユタ州にあるボンネビル塩湖を上回っています。またウユニ塩湖には世界の全埋蔵量の50～70%のリチウムが眠っているといわれています。
- ボリビアの国の生き物はラマとアンデスのコンドルです。
- ボリビアの主要言語はスペイン語です。しかしその他には36もの現地の言葉があります。最も良く使われているのは、アイマラ語、グアラニー語、ケチュア語の3つです。



ボリビアの丘（イメージ）

2. 心の歌

ボリビア



ガブリエラ

有名な音楽家の中には幼い頃から音楽が大好きな人が多いのかもしれませんが、しかし、ガブリエラは少し異なります。ガブリエラはボリビアのラ・パスで、生まれた時から母親にイエスさまの愛について教えられ、イエスさまが大好きな女の子として育ちました。幼いころから十戒について学び、イエスさまの愛を表す第7日目の安息日、すなわち、第4条も良く知っていましたし、什一やその他の献金についても良く理解していました。9歳になったガブリエラはイエスさまに心を捧げ、バプテスマを受けました。

しかし、年月が流れ、ガブリエラは音楽を通して世の楽しみを知るようになりました。始めの頃は学校の休み時間を利用してただ楽しんで歌っていました。すると、ミュージカルに参加しないかと誘われました。快諾した彼女は、ミュージカル女優として活躍し有名になりたいと心の中で思っていました。

19歳になった時、歌うことは自分の人生の全てだと信じるようになりました。大学ではいくつかの音楽グループに所属します。しかし、大きな交通事故に遭い自分だけがケガをした時など、自分

の選択は間違っているのだろうかと思うことが時々ありました。そのように思いつつも、大学で心理学を学び、無事に卒業しました。

卒業後すぐに何人かの友人とミュージカル劇団を立ち上げると、その活動はすぐに軌道に乗りました。多くの公演に出演した彼女は、パーティに参加したり、高級品にお金を使ったりすることに喜びを感じるようになりました。彼女は、歌ってお金を使うことが好きでした。しかし、それ以外の時間は心にぼっかりと穴が空いたような虚しさを感じるのです。人生の意味を見出せずにいたのです。

ガブリエラはアドベンチスト教会に出入りすることをやめてはいませんでした。土曜日の朝には「クリスチャン」になり礼拝に参加しました。しかし礼拝から戻るとすぐに他の生活に飲み込まれてしまいます。ある安息日の朝、ガブリエラは教会で特別賛美を聞きました。その時、彼女は「教会で歌いたい」と強く望み、心の中に神さまのために賛美したいという気持ちが与えられました。「私が教会で賛美したらお母さんも喜んでくれるに違いない」と思いました。それから、ガブリエラは安息日の礼拝だけではなく、午後の集会にも参加するようになりました。アドベンチストの音楽家の歌も聞き始めました。段々と「世俗的な音楽から離れたい」と思うようになりましたが、同時に有名になるという夢を捨てきれずにいました。そのような中、日々神さまに助けを求めて祈りました。

すると、新型コロナウイルスのパンデミックが始まり、世の中の全ての活動が閉ざされました。ガブリエラは以前のようにステージの上で公演することができなくなりました。彼女は落ち込んだのでしょうか。いいえ、彼女は大きな解放感をえました。パンデミックは、彼女がどうしても手放すことが出来なかった空虚で意味のない生活と別れ

るにはちょうどよい時間となりました。

ガブリエラは教会の牧師と仲良くなりました。牧師は彼女を聖書研究に誘い、彼女は喜んで参加するようになりました。一連の聖書研究を終えた時、彼女はもう一度神さまに心を捧げ、再バプテスマを受けることを望みました。神さまが、新しく神さまのために生きる機会を与えてくださっているように感じたからです。パンデミックが始まって1年経たないうちにガブリエラは再びバプテスマを受けました。その場で彼女は、「今までえた全てのものは神さまが与えてくださったものである」と告白しました。そして、「私の人生、持ち物と与えられているタラント全てを神さまの御用のために用います」と祈りました。バプテスマ後、ガブリエラは、Zoom を利用して神さまの栄光と誉れを賛美しています。教会のリーダーの求めに応じてオンラインの心理学セミナーと聖書研究も始めました。パンデミックの最中ではありますが、彼女に影響を受けて4名がバプテスマを受けました。ガブリエラは、彼女と同じようにイエス・キリストの道から外れそうになる若者たちに向けて特別なメッセージを語っています。「世の中で無駄な時間を過ごすのをやめましょう。全ての人にはタラントが与えられています。今すべきことはそれを見つけて神さまの栄光のために用いるだけです」

今期献げられる13回献金の一部はガブリエラの生まれ育った町、ボリビアのラ・パスに新しい教会を建てるために用いられます。9月24日には、たくさんの献金によってこの計画をお支えくださることを心から感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-2022.
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された事例です。

「世界伝道の概念を理解し、牧師だけが伝道に献身するのではなく、老若男女問わず全ての教会員が伝道に関わり、キリストを証して弟子を作る」（「伝道の目標」No.1）

「個人または家族を霊に満たされた生活を送れるように弟子訓練する」（「霊的成長の目標」No.5）

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」（「伝道の目標」No.4）

この戦略については、IWillGo2020.org に詳細が掲載されています。

豆知識

- ボリビアとペルーの間にはチチカカ湖があります。チチカカ湖は広さ8300平方キロメートルを誇り、標高3810mに位置し、汽船などが航行可能な湖として世界最高所とされています。
- 先住民アイマラ族の女性は、帽子のかぶり方で未婚と既婚を表します。帽子を傾けていたら未婚、帽子を中央にかぶっていたら既婚とのことです。

3. 神さまは全てをご支配される

ボリビア



カート

キャロルは大きな問題を抱えて、友人であるカートのところにやってきました。ボリビアのトリニダにあるキャロルの家を盗もうとしている人がいるので助けを求めにきたのです。

問題はキャロルが麻酔についての専門知識を身に付けるために母国ボリビアを離れブラジルの大学院に来た時に始まりました。キャロルとカートは同じ医大で働いており、キャロルは夫と2人でトリニダにクリニックを開業していました。

キャロルと夫は、ブラジルに引っ越す時、自宅とその土地を信頼する友人に預けました。2人が所有していた家は広く、市の中心部の高級住宅街にありました。友人はそこに移り住むと、住宅周辺の土地を買いたい意向を示しました。友人が周辺の土地を買い取る際、キャロルは資金を一部援助しました。

ところが、数年後にキャロルが自宅に戻ると、

友人は一銭も払わずにその住宅と土地を自分の所有物にするための法的手続きを始めていたのです。キャロルは愕然とします。友人はある一定期間、特に長期に渡り家や土地を所持した者に所有権が移るという法律を逆手に取ったのです。

キャロルは裁判所に訴えを起し、その訴訟は何年も続きました。訴訟が起こってから5年目、キャロルは大学院を卒業し、ブラジルで良い仕事に就きました。夫と一緒にブラジルに家を買って、そこに定住することになりました。2人にはボリビアで起こっている訴訟に支払うお金がありませんでした。そこで、古い友人であるカートを訪ね、「ボリビアにある土地をあなたの教会に譲りたい」と相談しました。

昔、キャロルと夫の2人は、その土地にクリニックを建てることを夢見ていましたが、今は、セブンスデー・アドベンチスト教会が建つことを夢見るのです。彼女は、言います。「私は、この土地が魂のためのクリニックが建つために用いられて欲しい」と。

カートは教会の代表者たちに相談しました。教会は、キャロルからの寄付を受け入れ、その土地を都市部の福音宣教のために用いることに同意します。

しかし、サタンはその計画を妨げようとしてきました。裁判は更に5年続き、最終的に最高裁判所にまで至りました。大変長い時間がかかりましたが、主が介入してくださり、最高裁判所はたった30日という短い時間でアドベンチスト教会に有利な判決を下しました。教会はその土地の所有者となり、新しい教会堂と健康センターを建てる計画が進められました。

今期の13回献金の一部はトリニダに教会と健

康センターを建設するために用いられます。9月24日には、たくさんの献金によってこの計画をお支えくださることに心から感謝いたします。

カートは、「神さまは、神さまが喜ばれる事のために時間と場所を用意しておられるということを今一度確認できました。神さまは全てをご支配されています。神さまの望まれることが天でも地でも起こりますように」と、神さまを賛美します。

〈お話しヒント〉

- 写真はカートと彼の友人を写したものです。
- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-2022.
- この伝道地だよりは、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された実例です。

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」（「伝道の目標」No.4）

詳細はウェブサイト IWillGo2020.org をご覧ください。

豆知識

- ボリビアの憲法は宗教の自由を保障しています。
- ボリビアの首都は憲法上スクレですが、議会をはじめとした政府主要機関が置かれているラ・パスが事実上の首都として機能しています。
- ボリビアは、ベネズエラ、ボリビア、コロンビア、エクアドル、ペルー、パナマをスペインから解放したシモン・ボリバル将軍の名まえを取ったといわれています。ボリビアは16世紀にスペイン領となり、1825年に16年に及ぶ長い戦争の末に独立しました。
- ボリビアの道路は11%しか舗装されていません。
- ボリビアの伝統的な食事はマニスूपと呼ばれるピーナッツのスープで、すったピーナッツの中にマカロニと野菜が入っています。
- ボリビアは主に天然ガスや錫や金などの天然鉱石、大豆や大豆製品を輸出しています。



ボリビアの最高裁判所

4. 新しい教会のための祈り

ブラジル



シモーネ

夜遅く、シモーネはトイレに行きました。ここは、シモーネが看護師として働いているブラジル南部の病院です。トイレにはテレビが置かれていました。シモーネがチャンネルを変えようと近づくと、テレビでは年輩の男性が話していました。シモーネはチャンネルを変えずに耳を傾けました。すると、彼は健康について語っていたので、シモーネは興味を持ち、もっと聞きたいと思いました。プログラムはホープ・チャンネル・インターナショナルが提携しているブラジル語の放送局ノボ・テンポのものでした。

それからシモーネは、ノボ・テンポの番組を定期的に見るようになりました。シモーネは全てのプログラムをとて気に入り、セブンスデー・アドベンチスト教会にも興味を持つようになりました。

以前からシモーネは安定した職を得るために神さまにお祈りをしていました。シモーネは派遣看護師としていくつもの病院で人材不足の穴埋めのために働いていましたが、家を購入し、ジャッキーリーニとアナクラウディアという2人の娘に経済

的安定を与えるために、安定した職を得たいと切望していたのです。

彼女は「親愛なる神さま、どうぞ安定した職を得させてください」と祈りました。

シモーネが祈ると、ブラジル中央部から北に1500キロも離れた町で看護師として働かないかという話が舞い込みました。ノボ・テンポを観ていた彼女は、新しい町でアドベンチストの教会を探しました。しかし見つかりませんでした。

シモーネは祈りを変えました。安定した職を求めて祈るのではなく、住んでいる町にアドベンチスト教会が出来るように祈り始めました。

彼女は「親愛なる神さま、この町にアドベンチスト教会を建ててください」と祈りました。

しばらくすると、シモーネに、また違う町で看護師として働かないかと声がかかりました。新しい職場があるウルイタという町は、今住んでいる町から車で25分の距離で今回は引っ越す必要がなさそうです。シモーネはウルイタでアドベンチスト教会を探しました。しかし見つかることはできませんでした。

彼女は「親愛なる神さま、この町に新しい教会を建ててください」と祈りました。

ある日、シモーネが病院での仕事を終え、家に向かって車を走らせていると、市の中心部を過ぎたあたりの建物に「ノボ・テンポ」と書かれているのを見つけました。ブラジルでは多くの教会が「ノボ・テンポ」の看板をつけています。

シモーネは自分の目を疑いました。自分の町に新しいセブンスデー・アドベンチスト教会が出来たのです。彼女は大きな喜びにあふれ、胸がいっぱいになりました。神さまはシモーネの祈りに応えられたのです！

シモーネは車を止めて最近落成されたばかりの教会に向かいました。そして喜びにあふれながら、ルイスとイスラエルという2人の牧師に自分のこ

とを紹介し、「私は、自分の町にアドベンチスト教会が出来ることをずっと祈ってきました！」と叫びました。

牧師先生たちはシモーネに会えたことをとても喜びました。そして彼女がノボ・テンポを通してアドベンチスト教会について知ったことを知るとさらに喜びました。

現在、シモーネは聖書研究を終え、バプテスマによって自分の人生をイエスさまに捧げる準備をしています。彼女はすでに光り輝く証人として用いられています。機会があれば、神さまが彼女の祈りに応えて建てられた教会に知人を招待しています。「神さまは私の夢をかなえてくださいました。今、私の夢は、神さまが私たちを輝かし、信仰を持続させてくださり、神さまの働きがこの地に溢れ、神さまの愛が多くの人に届くことです」とシモーネは言います。

9月24日には、たくさんの献金によってこの計画をお支えくださることを心から感謝いたします。今期の13回献金の一部はシモーネのような人が教会を見付けることができるように新しい教会を建築するために用いられます。

〈お話のヒント〉

- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-2022.
- この伝道地だよりは、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された事例です。

「世界伝道の概念を理解し、牧師だけが伝道に献身するのではなく、老若男女問わず全ての教会員が伝道に関わり、キリストを証して弟子を作る」（「伝道の目標」No.1）

「個人または家族を霊に満たされた生活を送れるように弟子訓練する」（「霊的成長の目標」No.5）

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・

キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」（「伝道の目標」No.4）

詳細はウェブサイト IWillGo2020.org をご覧ください。

宣教メモ

- 1939年にアントニオ・アルヴス・デ・ミランダ医師の指導で建てられたグッド・ビュー・クリニックがブラジルのアドベンチスト医療伝道の土台です。1942年にグッド・ビュー・クリニックは、大学教授の職をなげうち、医療伝道に生涯を捧げたガルディノ・ヌネス・ヴィエイラ医師によってサオパウロ・アドベンチスト病院として建て替えられました。
- 1900年に最初のポルトガル語によるアドベンチストの定期刊行物「ヘラルドの真実（The Herald of Truth）」が刊行されました。

5. 水着で教会へ

ブラジル



レジーナ

アルバーロの同僚たちは、アルバーロのことをよくからかって言いました。

「どうして金曜日の仕事終わりに飲みに行かないの？」

「この前の土曜日はどこに行ったの？」

「土曜日のパーティーに来てくれたことないね」

何を言われてもアルバーロは忍耐深く微笑むだけでした。そして、誰に対しても親切と愛情をもって語るのです。そんなアルバーロを見てレジーナは彼に興味を持ちました。そして、後日、彼がセブンスデー・アドベンチストであることを知りました。アルバーロとレジーナが働くサルバドールの政府機関では、数年に渡って、そんな冗談や冷やかしが続きました。しかし、その間、アルバーロが怒ることは一度もありませんでした。

ある日、レジーナは同僚のギルバートにアルバーロが毎週安息日に礼拝している場所へ一緒に行こうと誘われました。ギルバートは、「どうやら教会ではなく、変わった場所らしいよ。そこではもっと良く聖書について学べるらしい」と言いまし

た。レジーナは以前から聖書について学びたいと思っていたので、土曜日にギルバートと一緒に行くことを決めました。レジーナは帰りにビーチに行く予定にしていたので、カジュアルな服の下に水着を来て行きました。

ギルバートはレジーナを住宅街にある普通の外観の家に連れて行きました。すぐにレジーナは心地よさを感じました。そこには、教会のような外観も、宗教的な看板もありませんでした。そこは、人々に「イエスを分かち合う場所 (Sharing Jesus)」という名で知られていました。そこにいた人々は笑顔と抱擁でレジーナたちを迎え入れました。アルバーロも学生や先生が集うグループに参加していました。

まず牧師先生とその奥さんが聖書研究をしてくれ、その後、様々な質問に答えてくれました。レジーナは人々の質問を聞いているうちにリラックスし、顔からは自然と笑みがこぼれました。レジーナは、人々が一生懸命聖書を学ぼうとする姿に好感を持ちました。聖書研究の後、牧師先生は説教をするようでしたが、ギルバートは家に帰り、レジーナはビーチに行きました。

こんな土曜日が何週間か続きました。ギルバートもレジーナも聖書研究だけに参加し、ギルバートは家に、レジーナはビーチに行くのです。ある土曜日、彼らの新しい友人の1人が、「自分が説教をするので是非残って聞いて行って欲しい。残ってくれたら嬉しい」と、2人を誘いました。レジーナとギルバートは断るのも悪いと思い、残ることにしました。でも2人とも教会に参加するような恰好をしていなかったため、人々の目に触れない場所に隠れていました。説教の内容はとても良く、2人はそれから毎週、説教も聞いてから帰るようになりました。

1年程経った頃、ギルバートはバプテスマを受け、自らの心をイエスさまに捧げました。しかし

レジーナは拒み続けました。彼女には、常に、「友人や家族は何と言うだろう」という不安がありました。また長い間職場でからかわれていたアルバーロのことを思い出すとどうしても決心ができませんでした。また、レジーナは他の教派の家庭で育ったので、セブンスデー・アドベンチスト教会は伝統的でないようにも感じていました。

4年経った時、それまでお世話になった牧師先生夫妻が転勤することが決まりました。レジーナはそのニュースを聞くとすぐに、牧師先生に電話をしました。もう先延ばしする理由は何もありませんでした。レジーナは会衆の前でイエスさまへの信仰を表しバプテスマを受けたいと望みました。

多くの家族や友人がレジーナの決断に反対しました。しかし、レジーナは後悔していません。今、レジーナは教会で行っている貧しい人々を助ける働きの中心的な役割を担うようになりました。教会理事としても奉仕しています。レジーナはイエスさまが示してくださった愛のあふれる導きについて毎日神さまに感謝しています。その導きによって、今日、レジーナはアドベンチスト教会の神さまの家族となることができましたのです。

「機会があればいつでも、職場でもどこでもイエスさまを愛していることを周りの人たちと共有するようにしています。私たちは、人々を神さまのすばらしい愛に導く器なのですから」と、レジーナは言います。

3年前に集められた13回献金は、「イエスを分かち合う場所 (Sharing Jesus)」という教会が集会を持つ家を購入する資金として使われました。皆さまのご協力を心より感謝申し上げます。9月24日には、たくさんの献金によってこの計画をお支えくださることに心から感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-

2022.

- この話は、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された事例です。

「世界伝道の概念を理解し、牧師だけが伝道に献身するのではなく、老若男女問わず全ての教会員が伝道に関わり、キリストを証して弟子を作る」(「伝道の目標」No.1)

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するという掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」(「伝道の目標」No.4)

詳細はウェブサイト IWillGo2020.org をご覧ください。

豆知識

- ブラジルには600の哺乳類、1500の魚類、1600の鳥類、10万以上の昆虫が生息し、世界で1番多くの種類の生き物が生息する国として知られています。
- ブラジルには数多くの異なる土壌や気候が存在し、それによって多数の農作物が実ります。サトウキビ、ゴム、コーヒー豆、ココアビーンズ、綿、大豆、米、その他数多くの南国フルーツが主な輸出品です。
- ブラジルで1番人気のあるスポーツはサッカーです(現地では「フットボール」と呼びます)。ブラジル代表はワールドカップで5回の優勝を誇る世界でも有数の強豪チームです。
- アマゾン川はブラジルから流れ始めています。ナイル川に次ぎ、世界2番目の長さを誇ります。

6. 神さまだけに頼る

ブラジル



マルセロ

ブラジルに住むマルセロの人生は、イエスさまに心を捧げてから全てが順調のように見えました。しかし、彼の働く繊維会社の経営陣が新しく代わったことにより、彼の職は危険にさらされることとなりました。新しい経営陣は、従業員が平日に働く時間を短縮し、代わりに土曜日に働くように求めました。

マルセロは安息日に働くつもりは全くありませんでした。3年前にセブンスデー・アドベンチスト教会の一員になった時から、彼は妻のクラウディアと共に忠実に安息日を守ってきました。マルセロは経営陣と話をしようとしたが無理でした。全ての従業員は新しい業務時間についての契約書に署名させられました。拒否したのはマルセロただ1人でした。

「クビになるだろうか」「次は何が起こるだろう」マルセロは不確かな将来への恐怖と不安で胸がいっぱいになりました。しかし、マルセロは全てを神さまに委ねる決心をしました。彼の代わりに神さまに戦ってもらうことにしたのです。そう決心すると心が平安で満たされました。マルセロには、

神さまは決して自分を見捨てることはないという確信があったのです。

いよいよ新しい労働スケジュールが導入されると、マルセロの苦難はますます大きくなりました。最初の1週間、マルセロは他の従業員と同じ時間働きました。しかし安息日に教会に行き、他の従業員は最初の土曜日を会社で過ごしました。月曜日に会社に戻りましたが、驚いたことにクビを宣告されることはありませんでした。そのような日々が続き、マルセロは「次に何が起こるのだろう」と不安に思っていました。給料日になりました。マルセロの給料が減額されていることがわかりました。どうやったらマルセロと妻は生きていけるのでしょうか。さらに、この時、妻は妊娠していたのです。

マルセロにとって仕事場は心地よい場所ではなくなりました。同僚はマルセロに「お前、頭おかしいよ」「怠け者」など酷い言葉を浴びせます。「お前の神さまに何ができるのか見てみたいよ」と言われた日のことは忘れられません。

マルセロは全てを神さまのみ手に委ねる決心を新たにしました。何か月もマルセロと妻は信仰を保ち、教会員や親せきからの援助によって生活を続けることができました。危機が訪れるたびに、マルセロは「どんなことが起こっても、神さまに忠実でいよう」と、改めて決心しました。

マルセロの信仰と勤勉な姿を見て、同僚は徐々に彼をからかうことを止めました。それどころか、彼らはマルセロを助けるようになりました。ある時には、マルセロが土曜日に休み、給与を全額もらえるようにと経営陣に嘆願書を書いてくれました。しかしその願いは聞き入れられませんでした。

それから2年経ちましたが、神さまはマルセロと彼の家族をお見捨てになることはなさいませんでした。マルセロは詩編記者の言葉の成就を見

ました。「若いときにも老いた今も、わたしは見ていない／主に従う人が捨てられ／子孫がパンを乞うのを」(詩編 37 編 25 節、新共同訳)

神さまは神さまを敬うマルセロを特別に祝福されました。ある日、マルセロは経営陣から予期せぬ手紙を受け取りました。そこには、今までマルセロのことを不当に扱ったことを認め、今まで未納だった給与を支払うこと、また、今後マルセロが安息日に礼拝を捧げる権利を認めることが書かれていました。それを読んだ時、マルセロと妻は大喜びしました！ 神さまは彼らの祈りに応えてくださったのです！

マルセロはそれから 14 年間、同じ会社で働き続けました。彼は、「神さまに仕えることには価値があります。神さまの恵みによって、私はこの会社に新しい風を吹かすことができました。多くの同僚が私の体験を通して神さまのことや神さまが忠実に約束を守ってくださることを知ることができました。彼らは、私の神さまに何ができるのかを目撃したのです」と言います。

今期の 13 回献金の一部はマルセロの住むブラジル、マウアに新しい教会を建てるために用いられます。9月 24 日には、たくさんの献金によってこの計画をお支えくださることに心から感謝いたします。

〈お話しのヒント〉

- 写真はマルセロと妻クラウディア、そして 14 歳の娘さんです。
- Facebook で写真をダウンロードしましょう。
bit.ly/fb-mq.
- 南アメリカ支部の情報「Fast Facts and Mission Posts」をダウンロードしましょう。bit.ly/sad-2022.
- この伝道地便りは、セブンスデー・アドベンチスト教会の「I Will Go」戦略計画の次の項目が具現化された実例です。

「個人または家族を霊に満たされた生活を送れるように弟子訓練する」(「霊的成長の目標」No.5)

「自由と全人的回復を目指す健康教育、イエス・キリストによる希望、人々の中にある神に対するイメージを回復するということを掲げるセブンスデー・アドベンチスト機関を強める」(「伝道の目標」No.4)

この戦略については、IWillGo2020.org に詳細が掲載されています。

豆知識

- ブラジルの最高峰はベネズエラとの国境に位置するピッコ・ダ・ネブリーナ山で海拔 2994m です。常に雲に隠れていることから、1950 年まで発見されませんでした。初登頂は 1965 年で、エベレスト初登頂の 12 年も後のことです。
- ブラジルは南アフリカの中で唯一ポルトガル語を国語としています。
- ブラジルには 4000 の空港があります。その数はアメリカ合衆国の 13513 に次いで世界第 2 位です。
- リオデジャネイロにあるキリストの像は、土台を含め高さが 38m あり、重さが 635 トンあります。新世界の七不思議の 1 つとされています。